

授業改善書

科目名	租税法 I
担当者	望月 文夫

授業の概要

・租税と法律の基本の講義を行った。
・その際、その時々的重要なニュースなども取り上げた。例えば、オリンピックでメダルが期待された男子バドミントン選手が賭博の疑いをかけられたことがあったので、刑法と私たちの生活との関係性などについて触れた。また、消費税率引き上げを2年半延期するという政府の方針に基づいて、社会保障と税の一体改革に関する説明を行った。

授業の問題点

・法律が私たちの生活を規制していること、その規制が公共の利益の観点から行われていること、租税についても同様であること、租税を賦課徴収するためには法律の規定が必要であること、などを述べたが、学生自身が物事を考える習慣がついておらず、単に作業をするのが面倒くさいと思っているように感じていた。
・消費税に代表されるように、租税は国民一人ひとりにとって身近なことだが、生活と机上の勉強とを結びつけることができていないように感じた。

授業改善の課題・方策

・103万円の壁に代表されるように、租税は国民生活に深いつながりがあることを意欲的に学んでもらえるような授業を展開していきたいと考えている。

その他